

全国建設業協会（浅沼健一会長）は、地球環境保全活動などに役立つ環境レポートを、より多くの会員企業に作成してもらうため、環境レポートのひな形となる冊子を作成した。会員企業には無料で配布する。

環境活動は漠然と取り組むのではなく、実際に環境負荷をどの程度軽減できているか実数で把握

する必要がある。そこで実数を取りまとめ、簡単

なレポートを作成できる体制③事業における環境活動④CO₂排出量チェックシート⑤の4章で構成。環境方針や、企業概要・環境活動の取り組み

環境レポート作成を支援

ひな形となる冊子配布へ 全 建

だったが、より多くの会員に作成してもらおうと冊子にまとめた。

体制は、ひな形に従って書き込めば作成できる。

事業における環境活動

環境レポートのひな形では、①環境方針②企業概要・点検（見直し）のサイクルを示した。チェック

シートでは、電気やガソリン等の使用量を前期と今期で比較し、CO₂削減量をひと目で確認できる形を示しており、いずれも各企業に応じた数値を入力するだけで作成できる。

全建は、環境活動に取り組み会員に、その活動を地域住民にも積極的に伝えることを提案して

り、それで建設業への理解を深めてもらう一助にしたい考え。

全建が会員の環境活動後押し

報告書の「ひな型」作成

全国建設業協会（全建、浅沼健一会長）は、初めて環境報告書をまとめる会員企業向けに、報告書のひな型を作成した。

環境方針、環境保全活動の取り組み体制、二酸化炭素（CO₂）排出量チェックシートなどの項目を設け、企業名や数値などを書き入れるだけで、簡単な環境報告書が出来上がるようにした。環境保全活動は、企業の社会的責任の大きな柱の

HPで公表、冊子で配布も

一つ。全建は、会員企業にひな型を使ってもう一つで環境報告書の作成を後押しする。

ひな型は、全建のホームページ（<http://www.zenkai.or.jp>）からダウンロードできるほか、冊子も配布している。自社の状況に応じて内容に手を加えることで、独自の報告書がまとめられるとしている。

建設業界でも、企業単位でもCO₂の排出削減、自

然環境保全活動などの実績を環境報告書で公表したり、ISO14001やエコアクション21などの認証制度を利用し、発注者などとの信頼を深めたりなど、環境保全に関するさまざまな取り組みが進んでいる。

全建は、会員企業の多数を占める中小・中堅建設会社による環境報告書の公表を促進するため、簡易な報告書のひな型を作成することにした。

問い合わせは全建（電話 03・3551・9396）

建設工業新聞

2009/4/14